

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和2年度市営壱岐住宅新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡市西区壱岐団地	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住専、防火地域指定なし	平均居住人員	210人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2020年9月18日
敷地面積	2,596㎡	作成者	米澤 俊太
建築面積	492㎡	確認日	2020年9月23日
延床面積	4,164㎡	確認者	〇〇〇



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> コミュニティスペースを設け、歩車道分離を計り、環境の良い空間を計画した。敷地内に緑地空間を設けた。周囲の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆建材を使用し、室内環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 更新必要間隔の長い給排水配管を採用し耐久性に努めた。バリアフリーに対応し、高齢者に配慮した。二重床構造により設備配管スペースを確保した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物利用者や近隣住民が自然に親しめるよう出来るだけ緑地を設け、暑熱環境に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を室内外に採用した。南面のバルコニーによる日射遮蔽効果を図り、外壁・屋根には断熱材を設け一定の断熱性能を確保した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> シックハウス対策を取り入れた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置場・駐車スペースを適切量確保し、また駐車場導入路に配慮し、周辺の交通負荷軽減に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される